

艦政本部長

第四部長
第三部長
第二部長

部員

坂常

副官

参事官

發行
八月十日

大臣

廿六年八月十日起案

總務長官

軍務局長

第二課長

課員

指令按

左鎮第一二三号、七、九
軍禮豊橋

海總第二六八七號

上野 臣

0251

汽罐新製入換工事書
認許

明治三十三年十一月

五九六
陸軍

0252

第一二〇七四九

艦政本部

豐橋汽艦新製入換工事着手ノ義 前示申

第四洲長

今明兩年度ニ跨リ特定修理費ヲ以テ施行スベキ横須賀
鎮守府所管軍艦豐橋汽艦新製入換工事全府ヨリ當府
へ依托相成候ニ就テハ別紙圖面ノ通り製造ノ上入換致度
候奈御認許相成度別紙當造船廠長工事日子入費
調書并ニ着面貳葉相添へ艦船造修試験検査規則
第三十七條ニ依リ此段前示申候也

明治三十六年八月一日

佐世保鎮守府司令官長官野島實輝

佐世保鎮守府司令官印

狀

海軍大臣野島實輝

0253

軍艦豊橋汽罐新製入換工事ニ関スル

工事方案入費概算等調書

一 汽罐新製入換

工事方案 別紙圖面ノ通り汽罐ヲ新製シ在

来ノモノト入換ル上給水機ヲ新設スル事

入費金五萬貳千五百圓 内 材料物産費參萬千五百圓
職工費貳萬千圓

但 三十六年度所要

金貳萬六千圓 内 材料物産費壹萬四百圓
職工費壹萬二千圓

但 三十七年度所要

工事日子 叁百七十七日間

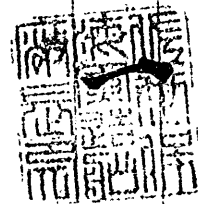
但 明治三十六年八月十日着手
今 三十七年十月三十日竣工

重量減少 八十五噸六百九十五キロ

右

明治三十八年七月三十日

佐世保海軍造船廠長辰巳



蜀面斗葉

四為圖出
一
終國務

0255

部員

横造曲三第 一〇〇號ノ一四

軍艦を移設後費、船額參子田本年、及
 今も備、分交、理上、付、船、車、四、才、一、〇、〇、号、ノ、二
 内、才、材、之、趣、了、集、右、船、額、ノ、中、船、之、壓、汽、漏
 之、同、新、装、引、換、及、去、年、交、付、船、之、船、ノ、洗
 機、の、修、理、費、之、充、テ、ア、リ、現、之、汽、漏、ノ、當、船、ニ
 知、名、生、之、中、此、他、ノ、修、理、ハ、今、后、時、機、ヲ、見、得、
 テ、當、船、ニ、於、テ、交、理、ス、ベ、キ、見、込、ニ、有、ク、又、他
 世、保、生、船、廠、ハ、委、托、ニ、カ、ル、モ、ハ、本、年、五、月、換
 結、第、一、六、五、号、ノ、三、三、本、府、在、島、ヲ、由、年、大
 臣、ハ、報、告、を、奉、リ、シ、通、汽、機、新、装、入、換、工

艦本四第 一〇〇號ノ三

詳記

事ノこゝ有之は案然標出る事也
及乎之也

明治三十八年八月六日

尾部長
官原政本部長殿

0257

第四部長

部員

佐世保、造船廠、依此を改修豊博汽船
新製機及検査之費ノ儀、自今迄、
通シ合廠長より通知越候、
査員縁養、
ト共ニ貴廠へ合示済、
ガリシモノ、
如何處理せらる、
報を申付候也

三十二年八月四日

美四部長

横濱造船廠長

艦本

有り着るは、外郎方を以て四月下段
ニ事り數百半日留りて、後之を以てハキ方
針、者より來たは、はり、高末中を以て
此より及り自様より也
明治二十二年七月

尾崎士郎海軍少将殿

陸軍省海軍部第四部長殿

0260

總政本部長

(有馬)

第三部長



第一部長



部員



一



七

0261

副官

參事官

發信
七
七
七



沖野

大臣

年 月 日 起 案

總務長官

軍務局長



第二課長



第一課長



抄
今
案

横領部六二五号軍艦扶桑無線電信試験

海總第
二七五號

一
母
實

ノ方々播改裝料認許
明治三十四年七月七日

法
算

0262

無線電

第二部長

第一部長

海軍 二七五

横領 六二五

扶桑橋ヲ無線電信試験、爲メ
 改装、義ニ付上申
 所轄兵器廠ニ於テ無線電信
 要有之矣ニ付、改装相成、居矣軍
 艦扶桑橋無線電信用後橋トツカ
 大トツカマストトツカマスト
 端ヨリ上甲板ニ至ル垂直、高サ百五十
 呎ニ改装相成度而シテ、現在後橋下
 ヲツカマストトツカマストハ之ヲ前橋ニ移シ、以テ西橋ト
 高、甚ラシキ差ヲ減シ、度圓面及ニ事

東京 前橋

方按並重量増減表相添へ此段上申

候也

明治三十六年六月二十七日

横濱鎮守府司令長官尾崎大將

海軍大臣野村



0264

鎮西六二九番

横須賀海軍造船廠長黒部廣生 黒部

軍艦扶桑無線電信改装工事法案



0265

軍艦扶桑無線電信改装工事法案

一 後檣「トップマスト」改造

上甲板より「ツラツク」マスト高より有終拾呎^ト之無線電信用カフ
長^ト仰^テ取^ル付^ケ其上端より上甲板^マテ^テノ垂直高サヲ百五拾呎

トナス事

二 後檣「ミリタリ」トップ「内」マスト揚卸口新設

前記「トップマスト」取付際「コスト」揚卸用トシテ「トップ」底部

適宜穴ヲ穿ケ之^ニ輕便^{ナル}蓋ヲ設^ケル事

三 前檣「トップマスト」変更

在末ノモリヲ廢シ現在後播ニアルモノヲ前播ニ移ス事

四 諸細具ノ準備

前記諸頁ノ新設改造ニ伴ヒ之ニ必要ナル細具類ニシテ在末モノノ
使用ニ堪ヘザル分ニシテ新規ニ準備スル事

五 工事豫算

工費	六百円
材料費	九百円
合計	千五百円
日数	貳拾五日間

光

軍令部長



艦政部長 有馬



第一局長



第二局長



第三部長



第一部長



副官

部長



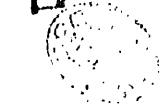
製圖室長 田



大臣

二十六年九月二日起案

總務長官



軍務局長



第一課長

課員



訓令案

軍艦長

無線電信機裝置工事設計

海總第三〇九五號

海軍

0268

但予の方案ハ要既弄工可ク敷重量増減兩側
認可シテ受テ著手スルニ

明治三十四年九月九日 海軍大臣

陸軍大臣 兼 海軍大臣

海總第三〇九五號

軍艦速度ニ無線電信機装置方 陸軍大臣 陸軍大臣

司令官方より 訓令ヲ奉リ以テ心得ルニ

明治三十四年九月九日 海軍大臣

軍艦隊司令官 兼 海軍大臣

總務長官 (印)

第一部長

第三部長

部長

副司長

課長

九年

副官

參事官

發付

十月一日

大臣

二十六年九月廿日起案

總務長官

軍務局長

第二課長

第一課長

課員

指令案

橫鎮第八〇八号二軍艦浪速無線電信機仕立

第三三九五號

海軍

0270

八〇八、二

艦政本部

第三部長

軍艦浪速無線電信機七装置ニ

閉ル船体部改造、儀ニ付上申

本年九月海軍第三〇九五號訓令ニ基

本軍艦浪速無線電信機装置ニ對ス

ル船体部改造工事取調矣處別紙

工事方按書、通りニ有之矣係御認

許相成度、圖面ニ葉結ニ重量増減

表相添此、版上申矣也

但シ兵署、部ニ目下調査中ニ付結了

、上更ニ上申可致矣

海軍

明治三十六年九月二十八日

0272

横須賀鎮守府又長官田島尉井上良磨
海軍大臣野田山本権兵衛殿



0273

軍艦浪速無線電信機装置に關スル改造工事

方案書

一 無線電信裝備ノタメ從來ノトップアマストニテハ規定ノ長サニ
不足ナルヲ以テ之ヲ廢シ更ニ約四十九呎ノトップアマストト四拾
四呎ノゲルニマストトヲ附シ尚ホ此ゲルニマストニ三十四呎ノガ
フヲ附スルコト別紙背面ニ示スカ如シ

一 無線電信室ハ右舷尾部砲術長要具庫ヲ取り擴ゲ
是レニ充ツ而シテ該要具庫ハ其一部ヲ左舷要具庫内
部模様換ヲナシテ是レニ移シ残りノ一部ヲ上甲板中央部
アスタンドートコンパスノ下ニ當レル酒保ノ半分ヲ圍ニテ移
動ス尚ホ操練用拾貳母藥筐ハ架ヲ機関ハハツテ后
部ニ四十七ミリ彈藥筐六個ヲ左右兩舷分前部要員廁

目録の後部へ露出併列に置キテ別紙背面、如シ

一入費概算

工賃金七百円
材料費金壹千〇拾円

一工事日数

貳拾五日間
別紙増減表ノ通

一重量増加

明治三十六年九月

横須賀海軍造船所廠長黒部廣生 (黒部)

15

一六五 / 四

借覽

艦政本部

第四部長

第三部長

軍務局長

第二課

平遠修理工事部外へ委託、併報告

一軍艦平遠 修理 (汽罐へリユール取換)

右、明治三十六年一月二十七日浦賀船渠株式

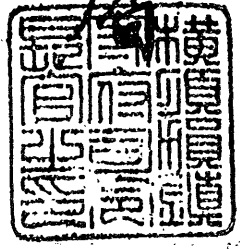
會社社長塚原周造ニ對シテ工事委託契

約ヲ締結セシ旨造船廠長ヨリ届出矣、間

此段及報告矣也

明治三十六年二月六日

横須賀鎮守府司令長官岡田武好



海軍大臣岡田武好 本權兵衛殿

0276

供覽

經理局長

經理局

艦政本部長

第二部長

一六五號 三

第二部長 梅 課長 知 事 外 委 托 報 告

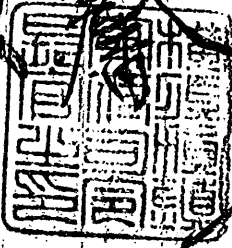
軍艦 身 修 理 業 務 報 告

右 明 治 三 十 三 年 西 月 日 賀 船 業 株 式 會 社 長 原 周 造 社 事 業 株 式 會 社 長 上 告 造 船 廠 長 委 托 契 約 締 結 上 告 造 船 廠 長

明 治 三 十 三 年 西 月 日 報 告 候 也

海軍大臣 野村 兼 吉 閣 下 長 官 野 村 兼 吉 閣 下 長 官

海軍大臣 野村 兼 吉 閣 下 長 官 野 村 兼 吉 閣 下 長 官



0277

副官

第一部長

第三部長

部員

第四部長

參事官

大臣

三十一年二月九日起案

總務長官

軍務局長

第二課長

課員

指令案

横領第四号軍艦八重山艦尾節船底不四廉

海軍

海軍

0278

新設改造郷認許ス
明治三十六年二月廿七日

五

0279

艦政本部

第三部長

四六

軍艦八重山船体部新設并改造ノ義上申
 目下軍艦八重山大修理ノ機會ニ際シ艦尾部船
 底外四廣新設改造ノ必要ヲ認メ候付別冊造船
 廠長提出ノ要領書ニ記載ノ一事方案ニ依リ施
 行致度候條御認許相成度艦政部長意見書
 並圖面五葉及重量増減表共相添此段上申
 候也

明治三十六年一月廿二日

横濱鎮守府司令官男爵井上良馨



海軍大臣男爵山本權兵衛殿

横濱分社印刷

進三別冊要領書外五項「ルギキル」新設ニ要
 スルノ費用概算ハ工費及材料費各千五百円
 計金參千四百ノ見込ニ有之而シテ其他四箇
 改修ノ費用ハ復舊修理費ト差額ト
 見込ニ付別ニ算出シ致候所取申修也

0281

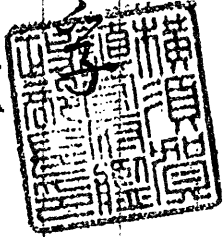
軍艦八重山新設並改造ノ意見

改造ノ要領ハ別冊ニ示ス如ク坐礁ノ為メ破壊スル艦
尾骨及舵等シ儘旧スルニ當リ旧構造ニ依テ
附屬如ク改造ニ從東該艦ノ欠典クシ
操縦力ヲ大ナラセム
ルニ在リ其改造タルヤ費用ノ莫ク於テ旧構造ト大差ナリ
而モ獲ル所大ナルヲ以テ時宜ト適ニシタル工率ト認メ全部同
意ヲ表ス

改造要領書中第五項ノビルジキール新設ニ為テ從
來動搖ノ劇甚ナリシモノリ甚シク速力ヲ犧牲ニ供セス
テ醫スル事ヲ得ルニヨリ同意ヲ表ス

明治三十六年一月廿日

横須賀鎮守府艦政部長植村永



横鎮艦政第九〇號ノニ

艦本第二三五號

軍艦ハ重山航体部部部設改造

上申中改造四廣共口元

業及工事日敷別銭要領費中概

記入、上上申書苦一括及内運係

可然古以互相成及付及内運係

明候也

明治三十五年二月五日

直村横須賀鎮守府艦政部長

艦本第二三五號

0283

有馬海軍艦政本部長殿

海軍

0284

艦政本部長

第三部長

部員

海軍省
艦政本部長
第三部長
部員

艦本第一五五號

軍艦八重山船體部新設改造、仰格法
 及び方量、仰申書中、凡て申上後
 必要之入費概算之記載あり、且、身長
 康、對して必要之材料、各層毎に、
 工、仰教、取、調、査、表、を、別、表、申、上、
 申、書、及、工、事、要、領、書、返、送、証、書、を、右、記
 へ、申、上、當、部、へ、送、付、在、申、上、也、
 三十一年一月廿六日
 本部長

海軍省 艦政本部長

0285

艦政本部

第三千六百六十六號

第四部長

第四五號

軍艦八重山復旧修理費豫算
軍艦八重山遭難破損ノ所復旧修理費豫算
金取訖候處別紙通ニ相成候間及進達候也

明治三十六年一月二十二日

横濱支鎮守府司令長官男爵青井之良



海軍大臣男爵山本権兵衛

0286

一月廿三日 電報

今年分

五万七千四

去年分

十三万四千七百七十四

合計十六万九千七百七十四

其内、之ハ、録字付ノモノハ、

おし、之ハ、高ク有リテ、

佐藤 昭一

（印）

134,555
118,555

16,000

0287.

0585

今年分
三才

0288

軍艦八重山復旧修理費豫算調

區分	船體部		機關部		合計	支出年度別
	工	費	材	料		
船體部	一〇〇〇〇	〇〇〇〇	二〇〇〇〇	〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三十五年 度
機關部	三〇〇〇	〇〇〇〇	二〇〇〇	〇〇〇〇	五〇〇〇	
合計	一三〇〇〇	〇〇〇〇	二二〇〇〇	〇〇〇〇	三五〇〇〇	三十六年 度
船體部	一五〇〇〇	〇〇〇〇	一八五五五	〇〇〇〇	三三五五五	
機關部	四七二〇〇	〇〇〇〇	三七八〇〇	〇〇〇〇	八五〇〇〇	三十七年 度
合計	六二二〇〇	〇〇〇〇	五六三九五	〇〇〇〇	一一八九九五	
合計	七五二〇〇	〇〇〇〇	七八三五五	〇〇〇〇	一五三九五	三十八年 度
合計	七五二〇〇	〇〇〇〇	七八三五五	〇〇〇〇	一五三九五	

備考

明治三十五年度内ニ要スル費用ハ引揚費残金貳萬圓及經常部造船及修理費一般修理費豫算額内ヨリ金壹萬五千圓ヲ支出シ支辨スル見込

合計 = 153,555
 38,000

 118,555
 16,000 (Pencil)

 134,555 (A)

→ 三十九年度より入用

0290

169,555
35,000

陳余金
別本特定自記

134,555

山修理費... 備付金
諸事... 同... 記... 也



一... 同... 三十五年...

一... 同... 三十五年...

一... 同... 三十五年...

一... 同... 三十五年...

一... 同... 三十五年...

一... 同... 三十五年...

0291

明治三十二年一月廿一日

星野部長に呈するに於て

佐藤文相に呈するに於て

洋
年

三
浦
納

0292

八光面

事照公之山海河海既其隨其是官也
 舟船布之牙四八三佛一ニシテ以テ其間有
 之張つる也一ノ口徑ビルチキ一ノ新復也
 燈籠取之其用ニ替之牙一八九五佛
 一ニシテ以テ其間有也一ノ先也船船船船船
 勢之是也其間有也一ノ先也船船船船船
 方之是也其間有也一ノ先也船船船船船
 計之是也其間有也一ノ先也船船船船船
 事之不其也其間有也一ノ先也船船船船船
 事之不其也其間有也一ノ先也船船船船船



明治三十四年十一月九日

京都府立第一中学校長殿

佐藤 昭

0294

第三部長



部員 淺田 清俊

軍艦八重山復旧修理費、件横造才一八五九
 号ノ二ノ通約アリ、業々然レ、同艦ビルギキ
 取替及艦尾改造費ハ、右ノ通約ノ金額持テ
 五ノ四ノ中、今有收得ノ或レ見、又右金額
 充分節約スル方ヲ以テ、於減サセシムルヲ
 得共、再查ノ取調、上ノ報、亦御意也
 三十四年十一月廿二日
 横造部 部長 浅田 清俊

艦本第三部長

0295

佐藤 子 部長 事務局長 事務局長 事務局長
佐藤 子 部長 事務局長 事務局長 事務局長

一 佐藤 子 部長 事務局長 事務局長 事務局長

一 佐藤 子 部長 事務局長 事務局長 事務局長

一 佐藤 子 部長 事務局長 事務局長 事務局長

佐藤 子 部長 事務局長 事務局長 事務局長

佐藤 子 部長 事務局長 事務局長 事務局長

佐藤 子 部長 事務局長 事務局長 事務局長

佐藤 子 部長 事務局長 事務局長 事務局長

0297

皇太后御成吉思汗御成

道之至義、信求改定、軍師至義、如休
起修阻費、金歌、内有宮材料、何用之
早、精、之、以、好、か、ま、ん、は、果、凡、空、是
如、前、内、位、制、煉、う、て、生、息、也、之、ま、あ、る
は、割、據、也、之、ま、あ、る、は、割、據、也、之、ま、あ、る
之、ま、あ、る、は、割、據、也、之、ま、あ、る、は、割、據、也